

美 作 大 学  
( シ ラ バ ス )

授業科目名:心理学概論Ⅰ				担当教員氏名:妻藤 真彦
1~4年次	2単位	前期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)
<b>【授業の目的】</b>				
心理学の基礎的内容。基礎科目として、専門での心理学の理解を助け、関連の書籍を読むのに必要な用語や理論的概念を解説する。ただし性格や社会心理は後期の心理学概論Ⅱで扱うので、ⅠとⅡを合わせて概論となる。また専門科目で扱うものは、概観程度にとどめる(学習や発達、児童教育心理学や児童心理学概論等があるので、ここでは簡単にしか触れない;また発達は以下の各テーマの中で各々触れるので、特に「発達」という項目は立てない)。				
<b>【授業内容】</b>				
1 感情1[基礎理論, 原因帰属, 複合感情, 日常的事例(恋愛, 痛み, 罪悪感など)]				
2 感情2[実験的研究と事例の続き]				
3 感情3[情動の発生と維持(情動が強く維持される条件, 失恋後の感情など)]				
4 感情4[情動の強化と二者関係(恋愛と夫婦間の感情の違い, 家族同士が持つ感情と家族心理療法)]				
5 感情5[情動とストレスの理論]				
6 感情6[ストレスへの対処]				
7 原因帰属1[学習性無気力など]				
8 原因帰属2[楽観的・悲観的原因帰属(学力, 人間関係などへの影響)]				
9 原因帰属3[自尊心, 自己愛と帰属スタイル]				
10 認知の歪み1[不適応を導く認知の歪みと認知・行動療法:過度の一般化・2分割思考など]				
11 認知の歪み2[続き:べきである思考・情緒的理由づけなど]				
12 思考と信念1[信じ込みを引き起こす要因:ランダム性の認知・代表性など]				
13 思考と信念2[続き:記憶要因など]				
14 思考と信念3[続き:少ない事実からの推論など]				
15 学習と記憶[勉強法を含む]				
<b>【テキスト】</b>				
随時指示				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b>				
試験				

16002

授業科目名:心理学概論Ⅱ				担当教員氏名:妻藤 真彦
1~4年次	2単位	後期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)
<b>【授業の目的】</b>				
心理学の基礎的内容。基礎科目として、専門での心理学の理解を助け、関連の書籍を読むのに必要な用語や理論的概念を解説する。ただし心理学概論Ⅰで扱ったものは除き、ここでは性格や社会心理が中心になる。また専門科目で扱うものは、概観程度にとどめる(学習や発達、児童教育心理学や発達心理学等があるので、ここでは簡単にしか触れない;また発達は以下の各テーマの中で各々触れるので、特に「発達」という項目は立てない)。				
<b>【授業内容】</b>				
1 学習と記憶[エピソード記憶・意味記憶・手続き記憶, 認知9 個人差その他[クロニンジャーの性格・気質7因子説]				
2 学習と記憶2[エピソード記憶の変容, 虚記憶など] 10 発達[人の一生の変化]				
3 動因[ホメオスタシス性・非ホメオスタシス性動因と, それら 11 心理療法[個別・集団面接, 家族心理療法, 精神分析]				
4 個人差1[人格心理学の概要と問題点・立場, 測定と診断 12 特定学派1[防衛機制など]				
5 個人差2[基本的感情パターン:乳幼児の気質研究など] 13 特定学派2[行動分析, 行動の自由度, 行動療法など]				
6 個人差3[基本的感情パターン:古典的理論] 14 社会的要因1[返報性ルールなど]				
7 個人差4[人格の5要因説:概要など] 15 社会的要因2[認知的不協和(説得, セールス, マインド)				
8 個人差5[続き:因子の説明など]				
<b>【テキスト】</b>				
随時指示				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b>				
試験				

授業科目名:家族心理学				担当教員氏名:渡邊 義雄																
1~4年次	2単位	前期	1コマ	(留意事項がある場合は記入)																
<b>【授業の目的】</b> 家族は人間社会の基本的単位であり, 人間形成の基礎的条件を提供する最も重要な社会集団である。霊長類の社会から家族の起源について説明する。近代社会の成立とともに起こった核家族化の中で, 親子・夫婦などの家族成員相互の関係について考察する。 家族の基本的事項を説明できること、家族の問題を心理学的視点で考察できることを目標とする。																				
<b>【授業内容】</b> <table border="0"> <tr> <td>1 家族心理学について</td> <td>9 夫婦の役割</td> </tr> <tr> <td>2 家族形態の系統発生的検討</td> <td>10 女性の自立</td> </tr> <tr> <td>3 霊長類社会の進化</td> <td>11 親子の問題</td> </tr> <tr> <td>4 家族の起源</td> <td>12 家族の機能</td> </tr> <tr> <td>5 現代家族の問題</td> <td>13 親としての発達</td> </tr> <tr> <td>6 女性の生きがい</td> <td>14 核家族の心理</td> </tr> <tr> <td>7 少子化の心理的要因</td> <td>15 家族のこれから</td> </tr> <tr> <td>8 少子化の社会的背景</td> <td></td> </tr> </table>					1 家族心理学について	9 夫婦の役割	2 家族形態の系統発生的検討	10 女性の自立	3 霊長類社会の進化	11 親子の問題	4 家族の起源	12 家族の機能	5 現代家族の問題	13 親としての発達	6 女性の生きがい	14 核家族の心理	7 少子化の心理的要因	15 家族のこれから	8 少子化の社会的背景	
1 家族心理学について	9 夫婦の役割																			
2 家族形態の系統発生的検討	10 女性の自立																			
3 霊長類社会の進化	11 親子の問題																			
4 家族の起源	12 家族の機能																			
5 現代家族の問題	13 親としての発達																			
6 女性の生きがい	14 核家族の心理																			
7 少子化の心理的要因	15 家族のこれから																			
8 少子化の社会的背景																				
<b>【テキスト】</b> e-Learningサーバ( <a href="https://ceas.mimasaka.ac.jp/">https://ceas.mimasaka.ac.jp/</a> )にて資料を配信。																				
<b>【参考図書】</b> 家族心理学への招待 ミネルヴァ書房 2006																				
<b>【成績評価の方法】</b> 毎回提出の出席ペーパー(20%) 論述式の試験(80%)																				